



# Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

## 評価報告書

### フィジー共和国

— 2024年度 地域巡回・拠点機能回復等支援事業 —  
(終了時評価—2025年4月)

#### プロジェクトの概要

国名	フィジー共和国
プロジェクト名	2024年度 FDAPIN VII プロジェクト (地域巡回・拠点機能回復等推進事業 (太平洋地域))
実施期間	2024年8月1日 (覚書署名) ~2025年3月31日
覚書署名省庁名 及び 事業実施機関	覚書署名省庁: 水産林業省 (Ministry of Fisheries and Forestry) 実施機関: 水産林業省水産局

#### プロジェクト実施の経緯と背景

フィジー共和国(以下「フィジー」という。)水産林業省は、「5か年及び20か年国家開発計画 (5-Year & 20-Year NATIONAL DEVELOPMENT PLAN)」の中で、食料安全保障及び所得創出の観点から、製氷施設を含む Rural Fisheries Service Center(以下「RFSC」という。)の活用計画を掲げている。

このような戦略の下、同国政府は、RFSC等水産関連施設の運営・整備を実施しているが、同国の水産関連施設の一部は、老朽化に伴う故障や運営管理の不備により、本来の機能を発揮することができず、漁業開発の推進に支障を来している。

このため、フィジー政府は、公益財団法人海外漁業協力財団(以下「財団」という。)に対し、水産関連施設等の整備・機能充実及び現地技術者への技術移転並びに関連組織への指導・助言を要請した。



財団は、我が国とフィジーとの漁業関係等の重要性に鑑み、同国政府の漁業振興策を支援するため、本プロジェクトを実施することとした。

### 目標・成果・活動内容等

上位目標	修理・修復対象施設周辺地域の漁業生産性が向上し、小規模漁業が発展する。
プロジェクト目標	水産関連施設が修理・修復され、水産関連施設の維持・管理に係る機能・技術が向上する。
成 果	ラミワークショップの修理機能強化及び技術指導 ラミワークショップの機能が強化され、関係者の製氷機の修理能力が強化・向上する。
活 動	ラミワークショップの機能の充実及び関係者のキャパシティービルディング ① ダブルキャビンピックアップトラックの換装 ② 効率的な在庫管理の指導 ③ 製氷機講習会の開催（3か所、22名のオペレーター参加予定） ④ 不具合がある製氷機4機を対象にした修理・修復の指導
投 入	<p><b>財団側</b></p> <p>1) 専門家 計画 巡回指導 チームリーダー／冷凍機器専門家 冷凍機器専門家 2024年7-8月及び2025年1-2月（約40日間／2人）</p> <p>実績 巡回指導 チームリーダー／冷凍機器専門家 2024年8月5日～2024年8月6日（2日間） 2024年9月30日～2024年10月3日（4日間） 2024年11月4日～2024年11月8日（5日間） 2024年11月18日～2024年11月22日（5日間） 冷凍機器専門家 2024年9月30日～2024年10月3日（4日間） 2024年11月18日～2024年11月22日（5日間）</p> <p>延日数 計画 40人日 実績 25人日（計画対比：63%）</p> <p>2) 主な資機材 ダブルキャビンピックアップトラック</p>

	<p><b>相手国側</b></p> <p>1) 主なカウンターパート Refrigeration Supervisor Officer (RSO) 水産林業省</p> <p>2) プロジェクト関連予算、土地、施設等 修理・修復及び技術移転等に要な施設の提供、水産局における電気・水道・電話の無償提供並びに講習会実施予算の確保、講習会へのオペレーターの招集及びホテルの手配等</p>
--	---

## 評 価 事 項

### ◆ 妥 当 性

#### 1. 対象国政府の水産振興政策との整合性

本プロジェクトは、フィジー政府が策定した国家開発計画に掲げられている「RFSC の活用」に合致した事業内容であり、妥当と判断される。

#### 2. 協力ニーズ（対象国、対象地域）との整合性

フィジーでは漁業者が氷を用いて漁獲物の鮮度を保持することが普及しており、その氷を安定供給することがフィジー政府の漁業活動支援及び沿岸漁業開発における重要な取り組みの一つとなっている。

氷は、全国に 24 か所ある水産基地の製氷施設から提供されており、製氷機の安定した稼働には定期的な点検性備や故障個所の速やかな修理が必要となり、これらをカウンターパートである RSO と 3 人の冷凍技術者が担っている。

RSO が拠点としているラミワークショップには 2013 年度の FDAPIN でダブルキャビントラックを配備したが、故障が頻発する等機動力が落ちているため、トラックの換装が求められていた。また、同ワークショップには製氷機の安定稼働に欠かせないスペアパーツ等が保管されているが、在庫管理が疎かになっており効率的な在庫管理の指導が必要であった。

また、各水産基地の製氷機に配置されているオペレーターは製氷機に関する知識と技術が十分ではなく、適切な保守点検が行われているとは言い難い状況であった。効率的に製氷機を運転・維持するためにはオペレーターが基礎知識と技術を習得することが必須であり、水産林業省はオペレーターがそれらを習得するための講習会の開催を望んでいた。

#### 3. 環境に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトは、ワークショップ機能の充実を図り、カウンターパート、冷凍技術者及びオペレーターの技量を向上させるものであり、直接環境に影響を与える活動はなかった。

#### 4. 水産資源に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトは、ワークショップ機能の充実を図り、カウンターパート、冷凍技術者及

びオペレーターの技量を向上させるものであり、周辺水域の水産資源に直接影響を与えるものではなかった。

なお、これらのプロジェクト活動により間接的に現地漁業者の漁業活動が活発になることが想定されるが、対象は小規模漁業者であるため、資源への影響は限定的である。

## 5. その他（プロジェクト関連予算、土地、施設等受け入れ態勢は決められたとおりに実行されたか等）

水産局は、講習会実施のための予算を確保するとともに、カウンターパート、車両の提供を適宜行い、非常に協力的であった。

## ◆ 効 率 性

### 1. 事業費及び実施期間

全ての資機材を現地で購入し、本邦購送に比較し安価に調達することができた。一方で、講習会用資材費が増額となり、事業費が当初予算を超過した。

水産林業省の協力と効率的な専門家の投入により、実施期間が短縮された。

これらのことから効率性はおおむね高かった。

### 2. 資機材、施設、専門家はタイミングよく投入され、期待された機能、能力を発揮していたか

専門家及び必要な資機材については、実施計画に従いタイミングよく投入され、プロジェクト活動は計画期間内にすべて完了したことから、それぞれ期待された機能及び能力を発揮した。

### 3. 移転技術はカウンターパートの習得水準に適合していたか

専門家が事前調査においてカウンターパート、冷凍技術者及びオペレーターの技術水準を見極めた上で移転技術の指導内容を検討しており、実施に当たっては適切な指導が行われたことから、関係者の習得水準に適合していた。

### 4. 状況の変化、教訓・提言等に応じて実施計画、活動項目は、適宜見直されていたか 見直しの必要はなかった。

### 5. その他（プロジェクトの効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等） 特になし。

## ◆ 有効性

### 1. プロジェクト目標の達成度

#### ①プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標：水産関連施設が修理・修復され、当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

計画どおりワークショップの機能を充実させ、技術指導によるカウンターパート、冷凍技術者及びオペレーターの知識及び技術レベルが向上した。

水産関連施設の維持・管理に係る技術を向上させることができたことから、プロジェクトの目標は達成された。

#### ②その他（プロジェクト目標の達成度と外部要因との関係等）

特になし。

### 2. プロジェクト活動項目及び期待された成果の達成度

ラミ、ランバサ及びラウトカのワークショップの整備・修理機能充実及び冷凍機技術者のキャパシティービルディング

期待された成果：ワークショップの修理機能の充実及び関係者の知識と技術が向上する。

#### ① ダブルキャビンピックアップトラックの換装

老朽化により故障が頻発していた 2013 年供与のピックアップトラックをカノピー付きダブルキャビンピックアップトラック（4 輪駆動）に換装したことより地方水産基地への移動が容易となり、整備・修理作業が円滑に行えるようになった。

#### ② 効率的な在庫管理の指導

ラミワークショップに保管されている予備品の在庫状況を確認し、フィジー国内の日本製製氷機 22 台に対して、コンデンシングユニットの在庫が無く、給水ポンプの在庫も 2 台だけであり、リレー等の制御機器の在庫も無いに等しいことを把握した。そこで水産省に予備品の補充を促した結果、水産省は、本邦製氷機メーカーから購入しなくてはならないコンデンシングユニット、給水ポンプ等について、早速、同メーカーに見積りを依頼し購入準備を開始した。

#### ③ 製氷機講習会の開催

国内の 24 か所の水産基地から 22 名のオペレーターが参加する講習会をラミ、ランバサ及びラウトカの 3 か所で実施した。フィジー国内で最も多く設置されている日本製製氷機をモデルとしたソフトと制御回路のシミュレーター、制御機器及び実機を使用し、製氷機の構造、冷凍サイクルの概要、製氷機構成機器の構造、作動及び役割に関する知識並びに現場で対応すべき保守点検についての理解を深めた。

#### ④ 不具合がある製氷機 4 機を対象にした修理・修復の指導

上述の講習会会場又は移動経路にあるワイニボカシ、レクツ、ラケンバ及びナンボワルの 4 か所の製氷機不具合状況を調べ、修理又は修理方法をカウンターパート、冷凍技術者及びオペレーターに指導した。

## ◆ インパクト

### 1. プロジェクト上位目標の達成に対し、プロジェクト目標の達成の効果はどの程度見込まれるか

製氷機の維持や修理・修復の中心となるラミワークショップの機能回復及び製氷機の安定稼働に必要なオペレーターの能力が向上したことから、フィジー全土にある製氷機の安定した稼働が可能となる。

このことにより、氷を使った漁獲物の鮮度維持が促進され、結果、鮮魚としての販売期間が長くなることから、周辺漁民の収入が向上し、小規模漁業が発展することが期待される。

### 2. プロジェクトは相手国・対象地域の政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果または負の影響が見込まれるか

本プロジェクトの実施により、製氷機が安定稼働し、周辺漁民は氷を日常的に入手できるようになる。また氷は、地域のコミュニティ行事等にも利用されることから、対象地域社会のニーズに応えることができる。

### 3. その他（ターゲットグループに対するインパクトや、プロジェクトの計画当初予見できなかった効果または負の影響が見込まれるか等）

特になし。

## ◆ 持続性

### 1. プロジェクト終了後もカウンターパート及び供与された資機材は有効に活用されるか

カウンターパート、冷凍技術者及びオペレーターは水産局の職員で、プロジェクト終了後も引き続き本施設の管理を担当する予定である。

供与された資機材は、製氷施設の稼働、維持・管理及び修理・修復に必要なものであり、プロジェクト終了後も有効に活用される。

### 2. プロジェクト終了後も効果は持続される見込みか

水産林業省は、フィジー政府が推進する「RFSC の活用」において、水産センター施設の継続的運営が同国の沿岸漁業振興に不可欠であることを認識し、施設運営のモニター及び財政支援を積極的に行うこととしている。したがって、本プロジェクト終了後も、この

効果は持続的に発揮される見込みである。

3. その他（プロジェクトの持続性に影響を与えると考えられる貢献・阻害要因等）  
特になし。

以上